

協定校留学【終了】報告書

留学先大学	南京大学海外教育学院	氏名	
国名	中国	学籍番号	
留学期間	2018年 3月 ~ 2019年 1月	記入年月日	2019年 1月 10日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野: 中国語			
科目名	総合(文化班)	科目名	口語(文化班)
授業内容	教科書に沿った学習。教科書の内容は、主に中国の国内問題に関してで、政治、社会、文化、経済と多岐にわたっています。(例: 80后, 改革开放, 中美关系)	授業内容	スピーキングの授業なので、教科書に沿った学習だけでなく、意見を求められ発言する機会も多くありました。この授業でも発表の機会がありました。
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.	非常に高い	難易度 Course No.	非常に高い
宿題の量	なし。しかしプレゼンの準備に時間がかかる。	宿題の量	なし。プレゼンがあるときはその準備
コメント	文化班は、海外教育学院の中で最もレベルの高いクラスです。先生は非常に知識の豊富な方で、日々様々な時事問題についてお話しくださいました。また、この授業では毎週、前の週に学んだ内容をテーマとしたプレゼンの機会が与えられていて、大変有意義でした。	コメント	8時開始なので、朝起きるのが大変でした・・・(笑)先生は大変親切な方で、発表すると使い方を間違えていた単語などをメモした紙をくださいました。
科目名	日漢翻訳	科目名	新聞(高級下班)
授業内容	日本語から中国語への翻訳	授業内容	中国語の新聞を読み、それに関して先生が話したり、生徒が意見を言ったりする授業。1学期に1度発表の機会がある。
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.	高い	難易度 Course No.	
宿題の量	多い(日本語の新聞を中国語に訳すというもの)	宿題の量	予習のみ
コメント	その名の通り、日本人のために開講されている授業で、日本語を話せる中国人の先生が担当しています。聞くところによると、のちに総理通訳となる方を教えた経験があるそう。しかし非常にフレンドリーな方で、授業も分かりやすかったです。	コメント	中国の最新のニュースを中国語で読めるので、実践的な語彙の習得に役立つ。様々な国や地域から来ているクラスメイトの各々の反応も見られて面白かったです。わたしが所属していたのは文化班でしたが、授業数が少ないクラスだったので1つ下の高級下班の授業も1つとって見た次第です。

2	<p>授業において困ったこと、その解決法について教えてください</p> <p>前期はとにかくスピーキングの力がないまま行ったので、授業で意見を求められて四苦八苦することが多々ありましたが、後期は慣れました。やはり現地で生活したり、中国人の先生による中国語の授業を受けていると、耳も慣れまじ、これはこう言えいいという言い方も、自然な言い回しも覚えるものだなと思います。中国の現代ドラマもスマホのアプリでよく見ていたのですが、それも表現を広げる良い勉強になりました。途中気がついたのは、中国語のスピーキングの力の強化よりも、自分の意見を持っているということの方が大切だということです。語学は上手い下手ではなく、話す意志があるかないかの方が大切です。毎週のプレゼンでも初めはテーマや内容がうけなかったらどうしようといったことばかり考えていましたが、こちらが入念に自分の納得がいく準備をして、自信を持って自分の考えを表現してみると、聞き手のクラスメイトは自ずと関心を持ってくれました。様々な国(わたしのクラスは欧米勢多めでした)の人に日本のことについて知ってもらうのは達成感の大きいものでした。</p>
3	<p>授業以外の活動についてお書きください</p> <p>毎週日曜日に、同じく津田から留学していた友人の紹介で、現地でバレエ教室に参加しました。中国人の先生の指導は非常にバイオレンスな感じで激しく、あちこち曲げられたり押されたり叩かれたり……(笑)レッスン中に何度も足をつったりと大変でしたが、日中の違いを感じた面白い経験になりました。笑</p>
4	<p>寮(またはアパート、フラット)の生活について教えてください</p> <p>寮(またはアパート、フラット)名とその場所</p> <p>南園13舎(国際学生寮) 海外教育学院のある場所からは歩いて15分ほどかかりますが、南京大学の敷地内です。シェアサイクルで通学している人も多かったです。</p> <p>設備についての簡単な説明</p> <p>とにかく広いです。まずドアを開けると玄関スペースです。キッチンのようにもつかえる手洗い場や靴箱もついていて、雨の日はそこで傘を3つ干しても大丈夫な広さです。ガラスの引き戸を開けると、リビングスペースのようになっています。棚しかありませんが、わたしは敷物を買って友達と話したり、ストレッチしたりするスペースにしていました。そこを抜けると、バス・トイレです。もちろん浴槽はなく、日本人にはびっくりなつくりですが、すぐ慣れます。そしてもう1つドアを開けると、机やベッドのあるスペースです。二段ベッドの下が机になっているような感じのものが4つあります。本来4人部屋ですが、全部屋3人しか入居させていないとのこと。寮は、南京で一番栄えている場所から非常に近くて交通の便もよかったです。また、近くに飲食店が多くあり、学食もすぐ近くにあって、食事には困りませんでした。</p> <p>部屋について</p> <p>3 人部屋 広さ 畳くらい</p> <p>ルームメイトについて</p> <p>日本人2人、マレーシア人1人の3人で暮らしていました。みんな夜型だったこともあり、生活している中での不満は全くなかったと言っても過言ではありません。もう1人の日本人は津田の学生で、精神的にも生活面でも大変支えてもらいました。マレーシアの子は南京大学の本科生で、中国語がほぼ母国語だったので、コミュニケーションに困ることはありませんでした。また、非常に明るい子で、マレーシア人グループでの活動や、中国人の同級生との活動に積極的に誘ってくれました。2人には本当に感謝しています。</p> <p>寝具や生活用品の入手方法</p> <p>寝具は中心部にあるwalmartで2月にきた当初に買いました。2018年度に留学したわたしたち3人は、夏を境に一度寮を引っ越しましたが、以前住んでいた曾宪梓楼も、新しい寮もシーツ、枕、布団、布団カバーは自分で揃える必要があります。他の生活用品も大体はwalmartで揃えました。引っ越し後は、中国最大手通販アプリの淘宝も利用しました。</p> <p>生活の感想</p> <p>とにかく治安がいいです。東京よりもずっと安全で、暮らしやすかったです。引っ越し先の寮は、先ほども書いたように本当に交通の便もよく、歩いて南京最大の繁華街に行けたので、散歩が好きなわたしとしては最高でした。あちこち旅行もしましたが、上海や北京と比べても、南京は圧倒的に生活するには環境がいいと感じました。適度に都会で、でも都会過ぎないところがよかったです。中国の中でも特に治安の良い都市と言われているそうです。南京と聞くと、南京事件を思い浮かべる方も多いと思いますが、南京で反日的な言動をされたことは一度もありません。むしろ日本好きの人が多かったように感じました。タクシーの運転手さんに何度か触れられたことはありましたが、どの方もあっけらかんと話題として振ってきただけという感じでした。</p>
5	<p>食事についてコメントを書いてください</p> <p>前期は気にならなかったのですが、後期は飽きてしまい、日本人が営んでいる日本料理屋さんに行くのが楽しみでした。</p>

6	医療保険についてお書きください		
	渡航前に加入した保険		
	AIG保険		
	留学先大学にあった医療保険制度		
7	800元の大学の保険(全員加入必須)		
	留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)		
	病気や怪我はしなかったので、特にありません。		
	費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)		
	(現地通貨)		
	渡航旅費	5800円	夏に帰省した費用も含めて 円
	帰国旅費	5800円	同上 円
	引越し(往復で)	2700円	EMS代(ダンボール3箱) 円
	保険	12500円	円
	語学研修費		なし 円
	留学先学費	19000円	円
	本学学費	11700円	円
	教材費	150円	円
	住居費	12000円	円
	食費	16000円	円
	その他(日用品)	800円	円
	(旅行代)	8000円	円
	()		円
	合計	94450円	円
	換算率 (<input type="text" value="17"/> = <input type="text" value="160万"/> 円)		
	受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください		
	津田が提供する奨学金で、15万円いただきました。		
8	留学前の準備について教えてください		
	日本から持参すべきもの		
	ハンドソープ(日本製でないとい個人的に洗えた感じがしないので)化粧品、コンタクト用品(中国でコンタクトを使用している人はあまりいないので売っていないと考えた方がいいです)わたしは色々持ち込みすぎてしまったタイプなのですが、想像以上に中国ではなんでも揃います。ネットショッピングアプリの淘宝では日本のものはほぼ売られています、多くの場合割高なので、持って行けるだけ持っていった方がいいと思います。		
	留学前にしておけばよかったこと		
	口語を中心とした勉強(HSK対策、中国のドラマを見るなど) それからくだらないことですが、もう少し日本で痩せていくべきでした(笑) 中国は美味しいものが多いです(タピオカなんて飲もうと思ったらいつでも飲めてしまいます)、油系の食べ物も多いので絶対に太ります!わたしの周りの友人も全員体重が増えました(笑)		

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>当たり前のことかもしれませんが、欧米系のクラスメイトの英語の会話は慣れなかったです。中国で中国語に染まってからは、本当に英語がわからなくなっていたので、ついていけませんでした。生活面では、トイレトペーパーを流さずゴミ箱に捨てる(流すとつまります)、そのゴミ袋をくちを縛って捨てる、という作業が初めは本当に抵抗がありましたが、不思議なほどに数ヶ月したら完全に慣れました。笑 夏日本に一時帰国した際には、ペーパーを流せることをむしろ不思議に感じたくらいです。また、どこでトイレに行くときもトイレトペーパーとしてポケットティッシュを持ち歩く習慣ができました。また、中華料理は油っこいので、いったばかりの頃はよくお腹を壊していましたが、徐々に韓国料理や日本料理、洋食の店を見つけたり、教えてもらったりして油を避けられるようになったのと、胃腸が適応したようで、後期はほぼ何の問題もなく過ごしました。</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>学習面については、中国語の生きた表現を習得できたことが大きかったと思います。日本で勉強しているのとはやはり全く違った成果が得られるなど実感しました。また、毎週プレゼンテーションをするために原稿をつくっていたので、中国語の作文の力は上がったと思います。それと同時に、日本にいた頃は人前で前に立って話をするということが苦手でしたが、何度もしているうちに慣れ、また徐々に自信をもってそれをこなすことができるようになりました。人前で外国語を話すということにも抵抗がなくなりました。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>わたしは中村元哉先生の中国研究ゼミに所属しており、卒業論文は中国共産党のエリートたちについて書く予定です。一般企業の就職活動をする予定で、中国に関わりが深く、中国での勤務ができる日系企業を受ける予定です。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>わたしは留学が本当に楽しかったです！少しでも留学に行きたいという気持ちをもったことのある方には是非挑戦していただきたいと思います。1年間の留学と聞くと重く聞こえるかもしれませんが、留学は行ってしまえばあっという間ですし、どう転んでも良い経験になると、留学を終えた今思います。外国人であるという立場を利用して、面白い活動に参加できたりもしますし、日本人という繋がりや、日本にいたら絶対に出会えないような日本人の社会人と話す機会も多くなります。特に協定校留学の良いところだと思うのは、津田の他の学生と一緒にいける点です。わたしたちもたくさん支え合いました。そして、行く以上は、事前に”使える中国語”を習得していくべきです。この点はわたしが大変後悔したことです。わたしは中国語検定2級を持っている状態で現地に行きましたが、聞いてわかっていても、自分の思っていることを伝えられず、何度ももどかしい思いをしました。語学はどんなにやってもやりすぎることはないの、ぜひ事前に”読む、聞く、覚える”、のインプット中心の学習ではなく、”話す、書く”のアウトプットを中心に勉強してほしいなと思います。もちろん読む聞くも大事ですが、教科書やテキストでやるよりも、中国の現代のドラマをみたり、人民日報のアプリで新聞を読んだりするほうが役にたつと思います。ドラマに関しては腾讯视频というTENCENTが提供しているアプリで見られます。どれも中国語の字幕付きなので、分からない単語は調べられます。ある程度中国語の実力がある状態で行った方が伸びも大きいと思います。色々細かいことを言ってしまったのですが、わたしは留学に行くことを強くおすすめします。自分が変わるという経験ができることはまちがいありません。是非頑張ってみてくださいね！</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p> <p>初めは、津田塾の協定校一覧を見て、なぜ大陸中国の留学先が南京しかないのか、なぜ北京や上海がないのかと思いましたが、結果的に南京で大正解でした。先にも述べましたが、南京は適度に都会、適度に田舎という地方都市の良いところがつまっており、大都市上海にも高速鉄道で2時間足らずで行ける距離にあり、日本人が適度に少ないところも留学環境としては良いところでした。加えて南京大学は広大な中国で上から6番目、江蘇省では1番の大変優秀な学生の集まっている大学で、図書館にはいつ行ってもたくさんの学生がいて自習をしていました。南京という都市も、南京大学という場所もどちらも最高の環境でした。協定を結んでくださった中村元哉先生と津田塾大学国際センターの皆さまには感謝したいと思います。</p>



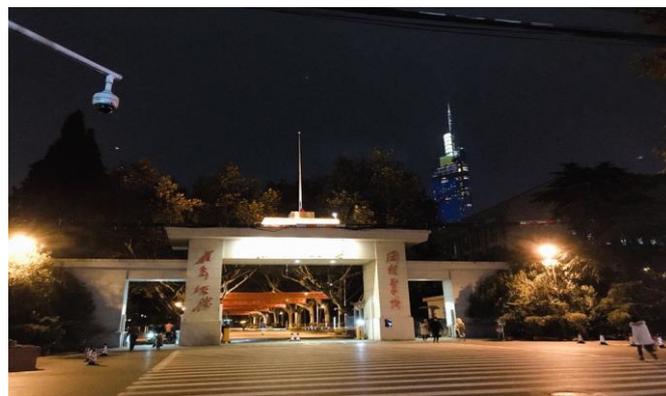
近所の果物屋さん！24時間営業らしいです。
夜見ると、水槽みたいで綺麗！
よくみかんやバナナを買っていました。



国慶節のときの南京大学漢口路門！
飾り付けられていました！



通学路には自然がたくさん！
このような昔風の休憩所もちらほら！
これももちろん南京大学の構内です。



同じ門のちょっと遠目&夜バージョン。
後ろの高層ビルは南京で1番高いビル”紫峰”です。
この門は後期の寮からすぐだったので毎日通って
いました。



みんな大好きゴンチャも中国では安くてささっと買えます。でも、右側の一点点の方が絶対おいしいです！笑

